

☆体験授業の概要☆

①オーラルコミュニケーション 『発音・発声から見る日本語と英語の違い』 【准教授 竹野 茂】

参加者の皆さんに英語の発音を体験していただきながら、日本語と英語の違いを理解していただくのがこの授業の目的です。英語では単語単位ではなく、フレーズ単位で音が連結され、切れ目がないように聞こえてくるメカニズムに迫ります。また、どのようにすれば、語と語、語と句の修飾関係を音声で表現できるのか、簡単な例文を音読してもらいながら体得してもらおうと考えています。まとまった英文を読むことで、スピーチの基本の一端を体験しましょう。この授業を通して、恥ずかしがらず大きな声を出すことの楽しさ、言葉を話す楽しさを味わっていただきたいと思います。

②日本文学 『国境の越え方——日本文学から日本語文学へ』 【准教授 渡邊 英理】

私の専攻は、日本文学ですが、本当は、日本語文学という言い方をできればしたい、そう、日頃から思っています。なぜ、日本文学ではなくて、日本語文学なのか。この、いささか市民権を得ていない、日本語文学と、日本文学の間には、一体、どのような違いがあるのか。実のところ、そこには、わたしたちが、国境を越えるときに必要だと思われる、ある気構えの秘密が、ひそんでいます。その秘密を、歌や音楽なども楽しみながら、参加者と一緒に、解き明かしていきたいと思います。

わたしたちは、いかにして、国境を越えていくことができるのか。専攻は文学ですが、思想や哲学、社会科学に興味をお持ちの方にも楽しんでいただける内容にする予定です。

③国際法 『国連のここが知りたい—国連入門—』 【助教 田村 恵理子】

「国際連合（United Nations）」という言葉の由来から、「国際の平和と安全の維持」という主要目的の実現方法まで、メディアでいろいろ取り上げられ批判されるわりには基本的なことがまだまだ知られていない国連の活動。大学の勉強では、「なんとなく思い込んでいた」とか「ばくぜんと知っていた」ような知識をいったん横において、新鮮な態度で学ぶことが第一歩です。この第一歩を、国連を素材に体験授業で味わってもらえたら素晴らしいですね！

④情報ネットワーク 『ICTの利活用を考える -使われる人から使う人へ-』 【教授 辻 利則】

Twitter, Facebook・・・, YouTube, Ustream・・・などなどいろんなインターネットの情報を私たちは活用しています。でも、よく考えてみると別に必要でない情報を得ていたり、ただ無駄に時間を費やしていたり、何をしているのかわからないことをやっていることがあります。

そのため、体験授業では、ただ与えられたものを使うだけでなく、地域の課題などクリアするためには何が必要でどうすべきかなど、積極的にインターネットの使い方を考えてみたいと思います。そして、私どもがこれまでに取り組んできた福祉（高齢者、障がい者）や地域活動（防災）の実践例について紹介します。

⑤社会心理学 『友達から恋人へ～社会心理学視点で考える～』 【教授 川瀬 隆千】

私たちはどんな人を好きになるのでしょうか？ そして、その人にどのようにして思いを伝えるのでしょうか？ また、その人との関係はどのようにして深まっていくのでしょうか？ たまたま出会った二人が互いに認め合い、関係を深めていくプロセスにはどのような気持ちや行動が関わっているのか？ 誰もが思い悩む恋愛関係に関する問題のいくつかを、「対人魅力」や「親密な人間関係」に関する社会心理学の研究を通して、探っていきたいと思います。

上記5科目から最大2科目選んで受講していただくことができます。